



(Japan Skipjack tuna Society)

令和4年度

通常総会議案書

*とき 令和4年9月9日(金) 13時00分～

*ところ Zoom Meetingsによるオンライン会議

日本カツオ学会事務局

〒780-8073

高知市朝倉本町2丁目17-47 高知大学次世代地域創造センター内

TEL : 088-844-8734 FAX : 088-844-8556

E-mail : katsuo@kochi-u.ac.jp <http://www.katsuo-gakkai.jp>



(Japan Skipjack tuna Society)

通 常 総 会 次 第

1. 開 会

2. 会 長 挨 拶

3. 議 長 選 出

4. 議事録署名人指名

5. 議 事

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告について P. 1

第 2 号議案 令和 3 年度収支決算報告について P. 4

第 3 号議案 令和 4 年度事業計画(案)について P. 6

第 4 号議案 令和 4 年度収支予算(案)について P. 8

第 5 号議案 その他

6. 閉 会



(Japan Skipjack tuna Society)

第1号議案

令和3年度事業報告

1. 概況報告

日本カツオ学会は、カツオに興味や関心を持つ、あらゆる人々が集い、各種の情報交換をはじめ、相互の交流と連携をもとに、調査研究を継続して行う機会、協働の図れる場づくりを目指して、産学官からなる発起人のもとに平成23年1月8日 高知県黒潮町で誕生した。

本学会は、会費収入を主たる財源としていることから、その後、徐々に発起人や関係自治体などを中心として、会員確保の活動を開始するとともに、カツオに関係する企業群にも本学会への参画について声掛けを進めて行った。

この結果、現状では(令和4年3月末)、個人会員131名、団体会員35団体、賛助会員6団体の会員登録を得るまでになっている。

例年、学会の主たる活動として「カツオフォーラム」と「カツオセミナー」を開催してきたが、令和3年度は新型コロナウイルスによる影響を鑑み、フォーラムとセミナーを一体化し、完全オンライン形式により開催した。

2. 令和3年度カツオセミナー&フォーラム

令和4年1月28日(金)、Zoomウェビナーにより「令和3年度 カツオフォーラム in 高知 カツオとの上手な付き合い方を目指して ～日本カツオ学会10年の足跡と未来～」を開催した。大学関係者や産業界などから約50名の参加者が集まり、約10年における産業界・自治体・地域におけるカツオにまつわる変化について意見交換する場となった。

<プログラム>

開会挨拶 13:00～13:10

川島秀一氏(日本カツオ学会会長)

山崎道生氏(高知カツオ県民会議会長)

基調講演1 13:10～13:50

「地方資源の活用とエビデンスに立脚した地方創生」

崎田恭平氏(㈱飴肥社中代表取締役、宮崎県日南市前市長)

基調講演2 13:50～14:30

「鰹節問屋から見た鰹節史」

高津伊兵衛氏(㈱にんべん代表取締役社長日本カツオ学会副会長)



(Japan Skipjack tuna Society)

特別講演 14:30～15:00

「日本カツオ学会 10 年の回顧と展望」

若林良和氏（愛媛大学理事、日本カツオ学会顧問・初代会長）

パネルディスカッション 15:10～16:30

「カツオとの上手な付き合い方を目指して
～日本カツオ学会 10 年の足跡と未来～」

ファシリテーター

受田浩之氏

（高知大学理事、日本カツオ学会副会長、高知カツオ県民会議会長代理）

パネリスト

松本敏郎氏

（高知県黒潮町長、日本カツオ学会副会長）

中田勝淑氏

（高知かつお漁業協同組合長、高知カツオ県民会議副会長）

濱村百合子氏

（枕崎市観光協会、枕崎カツオマイスター）

コメンテーター

崎田恭平氏、高津伊兵衛氏、若林良和氏

閉会挨拶 16:30～16:35

松本敏郎氏（高知県黒潮町長、日本カツオ学会副会長）

3. 役員会

令和3年度通常役員会は、令和4年3月14日（月）14時から開催。

協議事項としては、

- ① 令和3年度事業報告について
- ② 令和3年度収支決算報告（見込み）について
- ③ 令和4年度事業計画(案)について
- ④ 令和4年度収支予算(案)について
- ⑤ その他

以上を協議し、通常総会へ諮ることとした。

4. 会報誌の発行

「会報誌」の発行は、本学会を広く広報するとともに会員確保の一助とする



(Japan Skipjack tuna Society)

ために、当初より計画して検討してきた。令和3年度は2回発行を目標としていたが、事務局の力不足により作成できなかった。今後も事務局の労力増加は見込めないが、学会広報と会員確保の目的は堅持するため、会報誌の作成方法を再検討する。

令和3年度日本カツオ学会 収支決算書

【収入の部】

費目	予算額	決算額	増減(△)額	説明
1. 会費	554,000	506,000	△ 48,000	
個人会員	54,000	96,000	42,000	32人×3000円=96000円 合計96000円
団体会員	260,000	260,000	0	26件 × 10,000円 = 260,000円
賛助会員	240,000	150,000	△ 90,000	1団体×90000円=90000円 2団体×30000円=60000円 合計150000円
2. 雑入	3,004	9	△ 2,995	
雑入	3,004	9	△ 2,995	預金利息 9円 合計 9円
3. 繰越金	797,686	797,686	0	
前年度繰越金	797,686	797,686	0	
合計	1,354,690	1,303,695	△ 50,995	

【支出の部】

費目	予算額	決算額	増減(△)額	説明
1. 事業費	398,300	136,240	△ 262,060	
総会費	20,000	0	△ 20,000	0円
カツオセミナー費	100,000	77,940	△ 22,060	日本カツオ学会 R3年度カツオセミナー運営費
カツオシンポジウム費	200,000	0	△ 200,000	
広報費	58,300	58,300	0	学会HP年間ランニング費用 58,300円
会報費	20,000	0	△ 20,000	
2. 事務局費	78,000	66,230	△ 11,770	
事務経費	78,000	66,230	△ 11,770	振込手数料 郵便料等立替分
3. 予備費	878,390	0	△ 878,390	
予備費	878,390	0	△ 878,390	
合計	1,354,690	202,470	△ 1,152,220	

歳入歳出決算

【収入】

【支出】

1,303,695 円

—

202,470 円

=

1,101,225 円

を翌年度へ繰り越す。

監 査 報 告 書

令和3年度日本カツオ学会の会計監査の結果を下記のとおり報告いたします。

1 監査年月日 令和 4年 6月 13日

2 監査結果

令和3年度 日本カツオ学会の収支決算について監査したところ、会計諸帳簿・証票書類等、いずれも正確にかつ適正に処理され不都合な点を発見せず、正当なものと認めたので報告します。

令和 4年 6月 13日

監事 増崎 勝敏 

監事 和泉 政彦 

令和4年度事業計画(案)

日本カツオ学会は、平成23年1月8日の発足以来、9年目を迎え、カツオフォーラム、カツオセミナーを開催し、カツオ学会関係者並びにカツオ産業関係者の皆様が本学会活動を通じて、カツオの資源・経済・社会・文化など多様な価値を問い直すことを念頭に、各種事業展開を行ってきた。令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続く中、オンラインによるフォーラム開催など、状況に合わせた対応を取った。この状況は令和4年度も続くことが予想されるが、一方で集会形式のセミナー及びフォーラムを令和2、3年度と2年続けて開催できていない。令和4年度は年度末のフォーラムの集会形式での開催を視野に、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら開催検討するものとする。

1. 令和4年度「カツオフォーラム in○○」の開催

- (1) 令和4年度冬頃
- (2) 場所：(開催候補地検討)
- (3) 概要：(新型コロナウイルスの感染状況や当学会の状況等を考慮し、開催地、および集客開催かオンライン開催かを決定する)

2. 会員の確保

地域・領域・学問・立場など様々なレベルを超えて、つむぎ合うために、全国のカツオに興味や関心を持つ多くの人に参加を呼び掛け、学会の発展を目指す。

また、年度の切り替え時期には、最も多い個人会員の人事異動などを考慮して、関係機関においては、会員の維持・確保に向けた対応を積極的に行っていく。

3. 恒常的事業

(1) 日本カツオ学会ホームページの充実

平成23年9月に立ち上げた本学会のホームページの充実を図るとともに、会員相互の情報交換の場として活用、展開していく。

また、会員相互の情報交換に加えて、社会に発信すべきカツオの価値の再認識に繋がる活動や情報等、本学会が協力する他機関の活動も含めて学会ホームページを活用した発信を適宜行う。



(Japan skipjack tuna Society)

(2) 日本カツオ学会会報誌の発行

本学会活動を広く広報し周知を図るために、引き続き会報誌を発行する。発行回数は2回を目標とする。

内容は学会活動（フォーラム等）の報告の他、研究者から調査研究内容を寄稿いただく。

(3) 役員会及び企画委員会と編集委員会の開催

必要に応じて、臨時役員会や両委員会の開催を行う。特に、企画委員会と編集委員会にあっては、メール会議等を活用して各委員に周知を図りながら、意見集約を行い、より多くの意見が結果に反映できるように対応していく。

収入の部

単位:円

費目	前年予算額	予算額	増減額	説明
1. 会費	554,000	506,000	△ 48,000	
個人会員	54,000	96,000	42,000	32人 × 3,000円 = 96,000円
団体会員	260,000	260,000	0	26団体 × 10,000円 = 260,000円
賛助会員	240,000	150,000	△ 90,000	5口 × 30,000円 = 150,000円
2. 雑入	3,004	9	△ 2,995	
雑入	3,004	9	△ 2,995	預金、金利(令和3年度利息実績額)
3. 繰越金	797,686	1,101,225	303,539	
前年度繰越金	797,686	1,101,225	303,539	
合計	1,354,690	1,607,234	252,544	

支出の部

単位:円

費目	前年予算額	予算額	増減額	説明
1. 事業費	398,300	478,300	80,000	
総会費	20,000	20,000	0	令和4年9月9日開催予定
カツオセミナー費	100,000	0	△ 100,000	開催見合わせ
カツオシンポジウム費	200,000	300,000	100,000	令和4年度冬頃開催予定
広報費	58,300	58,300	0	HP維持費 58,300円
会報費	20,000	100,000	80,000	会報誌発行(送料、執筆者謝金等 50,000円×2回)
2. 事務局経費	78,000	78,000	0	
事務経費	78,000	78,000	0	通信運搬費 20,000円 監事旅費(1人分) 13,000円 土佐清水～黒潮町(1泊2日)13,000円 消耗品等 45,000円
3. 予備費	244,938	1,050,934	805,996	
予備費	244,938	1,050,934	805,996	
合計	721,238	1,607,234	885,996	